

AGUI

阿久比町制70周年記念 町勢要覧

70th Anniversary AGUI Town Guide 2023

Smile ☺ Future!

笑顔でかける未来



AGUI TOWN



スポーツのまち・阿久比のシンボルである阿久比スポーツ村町のランドマークとして多目的ホールを併設した複合型庁舎そして、四季を感じる田園風景や身近な自然一面に広がる大きな青空とともにのんびり、豊かで、心地よいこのまちの暮らしを織り成しています。今年、町制70周年を迎え「輝く子どもたちをみどりが包むまち」阿久比町をご紹介します。

阿久比町

阿久比町長
田中 清高

マスコット
キャラクター
アグピー

夢ある未来へのまちづくり 「ずっと住み続けたい。住んで良かったと思える町を目指して」

昭和28(1953)年1月1日に町制を施行した阿久比町は、令和5(2023)年1月1日に70周年を迎えることができました。現在の姿へと大きく発展を遂げることができましたのも、町の礎を築き上げた多くの先人のご苦労とご功績はもちろん、町民の皆さまのご理解とご協力のおかげです。心より敬意と感謝を申し上げます。

知多半島の中央部に位置する阿久比町は、のどかな田園風景が広がり、豊かな自然と歴史、文化に恵まれ、名古屋からも西三河からも30分圏内にある都市近郊の利便性のある町です。

青い空とみどり豊かな住環境のもと、優れた交通アクセスを有し、近年では全国有数の人口増加率を誇る活気ある町として発展してきました。

今後もより住みよい町を目指し、名鉄阿久比駅周辺の活性化に向けた駅周辺整備を進めるための調査業務と駅東側からの新たなアクセス道路の整備を検討するための概略設計業務を実施。また、子ども医療費のうち入院医療費の助成対象者を高校生年代まで拡大するなど各種施策を着実に進めてまいります。

町民の皆さまの声に耳を傾け、「阿久比町にずっと住み続けたい。住んで良かった」と、皆さまに感じてもらえるよう、これまでの歩みを止めることなく『夢ある未来へのまちづくり』に邁進し、『新しい阿久比をつくる』ため、子どもの頃から私が大好きなサッカーで培ったチームワークと関わる全ての人へのリスペクト精神を大切に、精一杯努めてまいります。

今後とも町民の皆さまのお力添えをいただければ幸いです。

阿久比町長 田中 清高

Building a Town with a Dream-Inspiring Future Aiming to create a town where people are happy to live permanently.

The town of Agui, established on 1 January 1953, celebrates its 70th anniversary in 2023. The town has seen significant growth over the years, resulting from the hard work and achievements of its predecessors, who laid its foundation. The citizens of Agui have also played a vital role in the town's development by understanding and cooperating with each other. I extend my sincere gratitude and respect to all the citizens of Agui.

Located in the heart of the Chita Peninsula, Agui has an idyllic rural landscape rich in nature, history, and culture. It is also conveniently located near Nagoya and Nishi Mikawa, which can be reached within 30 minutes.

The town has become a bustling hub with excellent transport links and the fastest population growth in Japan, surrounded by lush greenery and clear blue skies.

A fact-finding mission is currently underway to identify ways to revitalise the area surrounding the Meitetsu Agui Station to improve the town's living conditions. Additionally, a schematic design study is being conducted to explore constructing a new access road on the station's east side. In addition, various measures will be implemented gradually, such as increasing the age limit for subsidised in-patient medical expenses to include high school students.

Our topmost priority is to listen to our residents' feedback and work towards building a town where people feel happy to live permanently. I will strive to create a town that inspires dreams and brings happiness to all its residents. Drawing upon the values of teamwork and respect I learned through playing football since childhood, I aim to create a new Agui that reflects these principles.

As we advance, I hope the townspeople will continue to support us.

Kiyotaka Tanaka, Mayor of Agui Town

CONTENTS

- 01 ごあいさつ
- 03 笑顔でかける未来
- 05 住環境・利便性
- 07 子育て・教育
- 09 スポーツ・健康
- 11 農業・商工業
- 13 伝統・文化・芸術
- 15 自然・ホテル
- 17 70周年記念イベント
- 19 70年の歩み
- 20 アグピー20周年
- 21 タウンマップ
- 22 アクセス

阿久比町を
ご紹介
します!



阿久比町制70周年記念テーマ
「笑顔でかける未来」

2023年(令和5年)
 阿久比町は、町制70周年を迎えることができました

新型コロナウイルスの感染拡大により、
 外出自粛やマスク生活など我慢と辛抱が続いた毎日から少しずつですが、
 日常を取り戻すことができているように感じます
 この町の歩んだ歴史を振り返り 先人の苦労や功績に感謝する
 そして、輝く子どもたちのため、未来へつながる活気ある記念の年にしたい
 そんな思いから、「笑顔でかける未来」をテーマとしました

『未来へ向かって**駆ける**』
 『ひとりひとりの夢や希望へ 七色の虹を**架ける**』
 『楽しいイベントに **出かける**』

このテーマにたくさんの想いを込めました

笑顔には、人を元気にする不思議な力があると信じています
 笑顔には、この町の未来を創造する力があります

Smile ☺ Future!

夢ある新しい阿久比町へ

Agui Township 70th Anniversary Theme
 A Future Built on Smiles
 Agui celebrates its 70th anniversary as a town in 2023.

The COVID-19 pandemic has compelled us to wear masks and avoid going out, but we are gradually resuming our daily routines. The theme for this commemorative year is "A Future Built on Smiles." It is hoped that the town will reflect on its history, appreciate the struggles and accomplishments of its predecessors, and celebrate a vibrant year of remembrance that leads to a brighter future for its children.

"Running towards the future"
 "Building a rainbow for our dreams and hopes"
 "Going out to fun events"

The theme encompasses these thoughts.
 We believe that smiles have the magical power to make people feel better.
 A smile has the power to create the future of this town.
 Toward a new, dream inspiring Agui.



阿久比町制70周年記念ロゴマーク

全国から74件の応募をいただき、審査の結果、阿久比町在住のイラストレーター「おかべりんご」さんの作品を最優秀作品として決定しました。
 笑顔の「アグビー」の周りに、70周年と七色の虹色をかけて、未来へ歩み続ける阿久比町を表現しています。





「自然の豊かさ」と 「都市近郊の豊かさ」を あわせ持つハイブリッドな町

A hybrid town that blends nature with suburban convenience.



「通勤にもお出かけにも便利な交通アクセス。」

阿久比町には暮らしを豊かにする、たくさんの魅力があふれています。」

名古屋から南へおよそ25km。愛知県知多半島のほぼ真ん中に、阿久比町は位置しています。

町の中心に名古屋鉄道「阿久比駅」と知多半島道路(有料道路)阿久比インターチェンジがあり、名古屋中心部までは特急列車や高速道路を使えば約30分でアクセスできます。また、幹線道路を使えば西三河の主要市町へも約30分でアクセスでき、交通の利便性が高い町です。

Convenient transport links for commuting and going out. Agui is full of charms that enrich people's lives.

Agui is located in the heart of the Chita Peninsula, approximately 25 km south of Nagoya in Aichi Prefecture. There is Nagoya Railway's Agui Station and the Agui Interchange on the Chita Hanto Road (a toll road) in the town centre. Thanks to that you can reach central Nagoya in about 30 minutes by taking the limited express train or expressway. The town provides convenient access to Nishi-Mikawa's main cities and towns within 30 minutes via the arterial highway.



阿久比町役場 「町のランドマーク」

町民が交流・参加できる多目的ホール(アグピアホール)を併設した複合型庁舎。周辺の自然環境と一体化し、豊かな自然に囲まれた潤いあふれる庁舎は、町のランドマークとして景観を創っています。



名鉄阿久比駅 「開業40周年を迎えた町の玄関口」

名鉄河和線阿久比駅は昭和58年7月に開業し、今年で開業40周年を迎えました。平成20年には特急停車駅となり、名古屋まで約30分でアクセスが可能です。町の玄関口として、通勤・通学にと、幅広い方々に利用されています。



地域防犯パトロール 「犯罪を防ぐ地域の目で、安全・安心を実現」

地域防犯パトロールは、地域の防犯意識の高揚と犯罪防止の大きな力となっています。各小学校に「安全・安心パトロールカー(青パト)」を配備し、地域ボランティアによる防犯パトロール活動が実施されています。



消防団員による地域の安全・安心活動 「命を守る」を伝えたい

地域の安全・安心のため日々活動する消防団。女性消防団員の活動では、「命を守る」大切さを伝えるため、保育園・幼稚園やイベントなどへ出向き、子どもたちへの防火・防災教育に取り組んでいます。



「歩行者優先」のまち

町では令和3年7月に「歩行者優先」のまち宣言を行いました。歩行者の皆さんを交通事故から守るべく、さまざまな場面で歩行者優先を啓発しています。



子ども見守り隊 「子どもたちを見守る あいさつと地域の輪」

児童・生徒の登下校時に、子どもたちの安全・安心を地域の方が見守っています。「おはようございます」「いってきます」こんなあいさつが元気にできるのもこの町の良さです。子どもたちが安全に通学できるよう、地域の輪が広がっています。

「家族モデルにインタビュー」阿久比の良いところ聞いてみました!



歴史の魅力もある。この町の歴史をもっと知っていきたい。

自然が豊かで、どこに行くのも交通アクセスが良いので、本当に住みやすいよね。

子どもおとなも伸び伸びできて、とても子どもを育てやすい環境が充実しているよね。

広い芝生広場の公園で阿久比の青空はとってもきれい。



子育てを支える町の取り組み

急に熱を出したり、ケガをしたり、何かと病院にかかることの子どもの医療費が、中学校卒業まで無料です。また、令和5年10月からは、新たに高校生世代(18歳まで)の入院医療費を助成し、子ども医療費無料の拡充を行いました。
その他にも、病児・病後児一時預かり保育、ファミリーサポート事業など、子育て世代に寄り添った、きめ細やかな取り組みを行っています。



保育園・幼稚園

町立の保育園4園と幼稚園1園、私立の保育園4園と幼稚園1園があり、待機児童数はゼロです。約1,000人の子どもたちが楽しく過ごしています。放課後児童クラブ施設も充実しているため、卒園後も安心です。



幼保小中一貫教育プロジェクト 町全体が学び舎となる

「すべての大人が教育に関わり、町全体が学び舎となって子どもたちを育てるプロジェクト」中学校卒業までの教育を園や学校だけに任せるのではなく、地域、家庭が一体となって取り組む風土が町には根付いています。全小中学校の普通教室にいち早くエアコンの設置やICT教育の推進のため、児童・生徒に1人1台のタブレットパソコンを導入するなど、子どもたちを大切に育てる学習環境を日々充実させています。



Feature

「学問の神様」と阿久比とのゆかり 校章のヒミツ

阿久比町白沢にある「北原天満宮」には、学問の神様として知られる菅原道真がまつられています。諸説ありますが、西暦955年、英比(あぐい)の豪族であり、後の阿久比の地を開いたといわれる、菅原道真の孫にあたる菅原雅規が、自身の居住跡に建てた神社だといわれ、合格祈願のため毎年多くの人が訪れます。

実は、町内の小中学校の校章は、すべて菅原道真が愛でた「梅」をモチーフとしていることをご存じでしょうか。こんなことから「学問の神様」菅原道真と阿久比とのゆかりを感じることができるかもしれません。



「子育てのしやすさが この町の住みやすさに」

The town's ease of parenting makes it a great place to live.

子どもたちが輝き、健やかに成長できるよう、安心して子育てできる環境が整っています。

「誰もが楽しく子育てできるように」「親が親になることを支えたい」

お母さんやお父さんたちが主体性を持って前向きに子育てができるよう、町や地域全体で包み込み、妊娠・出産から育児・子育てまで切れ目のない全力のサポート体制でバックアップします。

The town provides a safe environment for children to grow healthy and happy. We aim to assist and empower parents in raising their children with positivity. We offer an integrated support system that covers everything from pregnancy and childbirth to parenting and childcare, ensuring a seamless experience for mothers and fathers.



あぐびっぴ(子育て支援センター)

「気軽さと温かさ。どんな方でもウェルカム」あぐびっぴは、子育て中のお母さんやお父さんたちが気軽に遊びに来ることができる場所です。町のいろいろな子育て情報を集約して伝える場所でもあります。夜泣きや離乳食といった悩みをテーマとした「おしゃべりルーム」、手作りおもちゃ・ヨガ・ペーパーマッサージなど工夫を凝らした講座を開催。芝生広場もすぐそばにあり、晴れて開放されているときは、外でもいっぱい遊べます。

Feature

“あぐびっぴ”のネーミング

町の“びっぴちゃん”たちがたくさん遊びに来てくれるように、という思いからこの名前が付けました。“びっぴちゃん”とは小さな子どもを指します。毎日のように通ってくださるお母さんもうらっしゃいます。



何度でも私たちスタッフに声を掛けてください。上手くいまで繰り返し頼って欲しいと思っています。

ここに来ることで、笑ったり、泣いてきたり、弱音がよけたり。そんな温かい場所を作ることが私たちの目標です。



子育て応援団・あぐびっぴスタッフ



阿久比スポーツ村・
交流センター(アグスポ)
スポーツのまち・
阿久比のシンボル

阿久比スポーツ村は、本格的にスポーツに打ち込むことのできるスポーツ複合施設です。室内練習場を併設した野球場は、ブルペンやスコアボードなどの本格的な施設が整い、高校野球の大会をはじめ様々な大会や社会人野球チームの練習場としても利用されています。また、全天候型トラックを備えた陸上競技場は、天然芝グラウンドを併せ持ち、陸上教室やサッカー競技の会場として親しまれています。

令和4年4月に交流センター(愛称:アグスポ)がオープンし、多目的体育室や室内プールをはじめとしたスポーツ利用のみならず、会議室や研修室なども備えた幅広い交流施設として、利用することができます。



スポーツのまち・阿久比

「**するスポーツ**」「**観るスポーツ**」
「**支えるスポーツ**」の推進

Agui is passionate about sports. We promote playing, watching, and supporting sports.

健康で暮らせる地域共生社会の実現
「**支え合い、安心できる地域づくり**」
「**社会参加による生きがいがづくり**」

地域に暮らす人たちがそれぞれ役割を持ち、共に支え合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現が必要です。高齢者を支える仕組みをつくるだけでなく、すべての住民がやすらぎを感じ、安心して生活できるまちを目指します。

地域における様々な活動や趣味・スポーツへの参加等を促し、人と人とのつながりを強め、地域ぐるみで健康づくりを進めていきます。



愛知県市町村対抗駅伝競走大会 優勝3回!
「**魅せた阿久比の誇り**」

愛知県市町村対抗駅伝競走大会(愛知駅伝)は平成18年から開催され、阿久比町は、平成29年大会町村の部で初優勝し、第15回大会(令和4年度)では3回目の優勝を果たしました。



健康で心豊かに、生きがいを持って生活を送れるよう、それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動が推進され、スポーツを通じたつながりが人や地域の活力を生み出すまちを実現します。スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ「アクティブあぐい」との連携、地域主体の部活動への移行の検討を進めるなど、誰もが気軽に、安全・安心にスポーツに親しめる環境づくりや施設の充実に努めていきます。

We aim to create a town where physical activity is integrated into individuals' daily routines, promoting healthy and fulfilling lives and fostering community connections through sports. Our goal is to create a safe and secure environment for everyone to enjoy sports casually. We will work closely with members of the sports promotion committee and the regional integrated sports club Active Agui to improve facilities and promote community-led club activities.



農業 商工業

Farming, Commerce & Industry

温暖な気候と豊かな土壌＋アクセス利便性 「地の利を活かしながら 町を支える産業」

Mild Climate and Fertile Soils + Easy Accessibility
Industries support the town while taking advantage of its geography.



阿久比米 「食べることはその土地を知ること」

阿久比町は古くから米作りが盛んで、知多半島の「米どころ」として知られてきました。阿久比米の中でも特別栽培米「れんげちゃん(レンゲ米)」は、春に花を咲かせたレンゲを土にすき込む農法で育てられています。農業を可能な限り少なくした、安全・安心なおいしいお米です。



先端技術とものづくり企業 「利便性を活かし ものづくりを中心に 産業で活気あふれる町へ」

町内の4つの工業団地(草木工業団地、草木東部工業団地、中部工業団地、南部工業団地)は、様々な分野のものづくりの拠点となっています。市場や関連企業への輸送面など、阿久比町が名古屋や西三河、中部国際空港(セントレア)など多方面へアクセスが良い利便性を活かし、自動車関連企業やQRコードを開発した情報開発企業をはじめ、全国で道路標識などの環境整備を行う企業、国内最大手の粘土瓦の企業、伝統製法を受け継ぐ老舗醸造業など、様々な産業が町の発展を支えています。



くらしを支える商業施設

大型商業施設、スーパー、薬局など、日常生活に必要なものはすぐそばで揃います。知多半島のほぼ真ん中という立地で、近隣からもたくさんの買い物客が訪れ賑わいをみせています。



Feature

「ノコギリ屋根の織布工場」 にみる阿久比の産業古今

知多半島では焼き物に適した良質な土が採れたことから、鎌倉から室町時代かけ、阿久比でも窯業が盛んに行われており、当時の焼き物が発掘されています。明治以降には、織布産業の水車紡績(ガラ紡)が始まり、さらに機械紡績へと切り替わり、発展していきました。知多半島に知多鉄道(現名鉄河和線)が敷かれると、織布産業はさらに発展。昭和初期には阿久比が県内有数の織物のまちとなりました。昭和50年頃には70以上の織布工場があり、「ガチャガチャ」と綿布を織る音が鳴り響いていました。その後、時代に進むにつれ工場数は減少しましたが、今も町内には織維関係の会社があり、ノコギリ屋根が産業の歴史を物語っています。



電照菊 夜になると明るく浮かび上がるハウス栽培

菊は、愛知県が全国一の生産地であり、県の花き生産額の主力品目です。愛知県では、昭和20年代中頃に渥美半島で電照菊栽培が導入され、県内各地で栽培がみられるようになりました。昭和50年代には阿久比町でも電照菊のハウス栽培が盛んに行われるようになりました。夜になると、電灯が一斉に点き、ハウスが明るく浮かび上がります。

「おいしさは土から作られる」

「子どもたちが食べたいと思える農作物を」

温暖な気候と豊かな土壌に育まれた、阿久比の農作物。豊富な栄養だけでなく、生産者の思いも込めてお届けします。

阿久比の土は粘土質で、栄養素を豊富に含んでいて、肥料もちに加えて水持ちも良い。阿久比の土で育ったお米と野菜って本当においしいです。

The source of deliciousness is in the soil.
Foods that children love to eat.
Agi's produce is nutrient-rich and grown with tender, loving care in a mild climate.
The soil in Agui is clayey, rich in nutrients and holds both fertiliser and water well. Rice and vegetables grown in Agui's soil are very tasty.



阿久比の農作物を地元の人に食べてもらえるよう、新鮮で安全・安心なものをお届けします。



伝統・文化
芸術

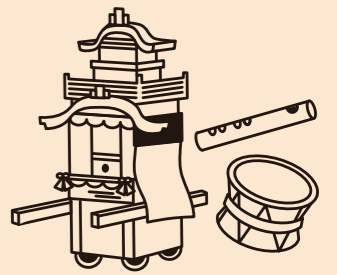
Tradition, Culture & Art

「勇壮、華麗、まさに動く芸術」
熱き思いで、脈々と未来へ受け継がれる
伝統文化と心意気

Epic, Splendid, Moving Art
Passionately passing down traditional culture and spirit to posterity.

4月、各地区の神社では、今年の豊作を祈る春祭りが行われ、勇壮な山車の曳き回しやお囃子、三番叟などが奉納されます。夜には山車に提灯を付け幻想的な宵宮が行われます。
細かく精巧な彫刻、華麗な水引に彩られたまさに動く芸術です。
古くは、この地方の山車を手掛けた宮大工を輩出した阿久比町。伝統文化は、子どもたちへ、そして未来へと、脈々と受け継がれています。

In April, spring festivals are held at shrines in each district to pray for a bountiful harvest. Grand floats are pulled around while musical performances and traditional sanbaso dance are offered to the gods. Lanterns decorate the floats at night while a fantastic evening gala called Yomiya takes place.
The floats are a moving art form adorned with intricate carvings and stunning paper decorations. In the past, Agui produced skilled shrine carpenters who crafted the region's floats. The traditional culture is passed down to the younger generation, ensuring it will continue.



阿久比谷虫供養
「平安時代から約900年続く
米どころ阿久比で受け継がれる民俗信仰行事」

農作業で犠牲になった田畑の虫を供養するために念仏を行ったことが始まりとされ、平安時代の終わりころから阿久比でも行われるようになった民俗信仰行事で、約900年の歴史があります。虫供養行事は現在、町内の12地区が1年交代で当番を受け持ち、寒干しや土用干しを行いながら、虫供養当日を迎えます。当日は、導師の先導で同行衆による「百万遍念仏」が唱和されます。この地に住む人々が「五穀豊穡への感謝と犠牲になった虫への供養の心を忘れない」と脈々と受け継がれてきた行事です。



於大の方
「乱世の世を強く生き抜いた
家康の生母 ゆかりの地」

徳川家康の生母「於大の方」は、岡崎城主の松平広忠に嫁ぎ竹千代(後の家康)を産みました。その後、政略的に離別させられ、阿久比の坂部城主 久松俊勝に再嫁します。(坂部城は、織田信長の家臣の手勢により焼失。現在は城山公園となっています。)家康に対しては音信を絶やさず、少年期の家康の心の支えとなったといわれています。阿久比の地で15年間を過ごし、没後には坂部の洞雲院に遺髪が分納されました。



幻の花“花かつみ”

古くから多くの歌人に詠まれ、一時は絶滅したともいわれた幻の花「花かつみ」。“於大の方”がその「勝つ」という名前に徳川家康の武運長久を願って、仏前に捧げたという伝説も残っています。6月、町内の草木地区にある花かつみ園では、色鮮やかな紫色の花を咲かせます。

Feature
「阿久比」のルーツ

私たちのまち「阿久比町」。町外の方からは「あくび」などと呼ばれることもしばしば。どういう意味?由来は?とよく聞かれるのですが、残念ながら詳しいことは分かっていません。ただ、奈良の藤原京(西暦694~710年)から出土した木簡には、すでに「知多評(後の知多郡)阿具比」と書かれた史料が発見されていることから、少なくとも1300年以上は親しまれてきた名前のようなのです。この辺りは、江戸時代から「英比谷16ヶ村」と言われ、まちの中央を流れる阿久比川の山裾に点々と集落を造ってきました。明治時代に入ると何度かの合併を経て、明治39年「阿久比村」へ。その後、昭和28年1月1日の町制施行へと歩みを続けます。



広がる文化芸術

笑顔の輪

あらゆる世代が文化芸術活動に触れられる取り組みを行っています。見ているだけではもったいない。自らも参加し・体験する。人と人とのつながりで、笑顔の輪がどんどん大きくなっています。



憩いのひとときをあなたに
「ロビーコンサート」

庁舎と音楽にもっと親しんでもらおうと、役場ロビーで定期的開催されるミニコンサート。町内在住の音楽家や音楽サークルなどが出演します。



子どもたちのための音楽会
「音楽だーいすき」

町民活動団体が企画する音楽会。小学校とアグピアホールを巡回して、皆さんに素敵な音色をお届けします。



夏の夜 親子で楽しめる
「野外音楽会」

夏休みに役場芝生広場で行われ、町民楽団「阿久比吹奏楽団」の演奏をはじめ、子どもたちによる「チアダンス」などが披露される人気イベントです。

広がる文化芸術



ふれあいの森
「青空と芝生が広がる 町民憩いの公園」

広々とした芝生広場をはじめ、デイキャンプ場やパターゴルフ、水遊び場など家族がそろう楽しめる設備が充実した公園。園内のホタル養殖場では、1年を通してホタルの生態を観察できます。また、気軽に誰でも野菜作りを楽しんでいただけるよう、ふれあいの森に隣接した農地を貸農園「元気な家族農園(有料)」として整備しています。



青空図書館(ブックガーデン)

緑豊かな「ふれあいの森」で行われる出張図書館イベント。パラソル付きの移動式ブックトラックが並び、本の貸出しや広々とした芝生広場での絵本の読み聞かせなど、たくさんの親子でにぎわいます。青空の下、大人も子どもも、のんびりと時間を忘れて楽しみましょう。



四季折々の彩り
いつも暮らしのそばにある
身近な自然

Seasonal colours - nature close at hand



白沢ホタルの里
「ホタルの乱舞は圧巻」

白沢大池西側の休耕田を利用したホタルの養殖場。毎年6月下旬から7月上旬にかけてヘイケボタルが飛びかう様子を見ることができ、町屈指のホタル観賞スポットとして有名です。(左写真:ホタルの幼虫を放流する様子)



Feature

ご存じですか?アグビーは「ヘイケボタル」だってこと

町内で見られるホタルは「ヘイケボタル」です。主に水の流れが少ない水田や池沼などに生息し、6月中旬から7月中旬に見ることができます。ヘイケボタルに並び日本で最も代表的なゲンジボタルとの違いをみてみましょう。

	ゲンジボタル	ヘイケボタル
主な生息地	きれいな水が流れる川辺など	水の流れが少ない水田や池沼など
見られる時期	5~7月	6~7月
体長の比較	大きい(オス15mm/メス17mm)	小さい(オス9mm/メス11mm)
飛び方	曲線的	直線的
発行度合いの比較	強い	不規則で弱い

「最近では、環境の変化などでホタルの数が減ってきています。これからもホタル飛び交う、豊かな自然を守りましょう」

板山高根湿地
「阿久比町東部に位置する
知多半島有数の湿地」 ※限定公開

知多半島でも有数の自然環境が残る、「シラタマホシクサ」(8月~10月。別名コンペイトウグサ)などの湿地性植物や体長2cm(小指の先)ほどで日本最小の「ハッチョウトンボ」(6月~8月)など、周辺には多種の昆虫や鳥が生息しています。



Feature

名作童話「ごんぎつね」
ゆかりの「ごんげん山」

阿久比町植大に「権現山(ごんげん山)」と呼ばれる山(神社の五郷社(古くは権現社)の鎮守の森)があります。国語の教科書にも載っている新美南吉の名作童話「ごんぎつね」は、この「ごんげん山」に住むキツネから名前をとったといわれています。ごんげん山付近では今でもキツネの目撃情報もあるため、現代の「ごんぎつね」に会えるかもしれません。



矢勝川の彼岸花
「童話のふる里」と
「地域ボランティアによる
環境保全のシンボル」

秋の彼岸の頃になると、矢勝川の堤防に彼岸花が咲き誇り、幻想的な光景が広がります。ふる里づくりの一環として、地域のボランティアを中心に彼岸花の球根の植栽が続けられ、景観維持に貢献しています。

阿久比町は、知多半島の中央部に位置し、四季折々の変化を身近に感じられる豊かな自然に恵まれたまちです。中央には阿久比川が流れ、それを囲む丘陵地には里山や水田が広がっています。大きく広がった青空と田んぼ。草花が揺れる阿久比川。まちに溶け込むようにモコモコとした里山。竹林でタケノコ掘りやお花畑でかけっこ。都会では遠くに行かないと味わえない身近な自然が、いつも暮らしのすぐそばにあります。

Agui is located in the heart of the Chita Peninsula and is blessed with a rich natural environment that allows one to experience the changing seasons up close. The River Agui flows through the centre of the town, and the hills surrounding it are dotted with village forests and rice paddies. You can enjoy bamboo shoot hunting or frolicking in fields of flowers. Nature is readily accessible, unlike in the city.





April
4月

春だ!れんげだ!農業まつり

米どころ阿久比。田園風景を背景に、春らんまんのれんげ畑の中で行われる宝さがしや田植え体験、トラクターとの綱引き大会などの楽しいイベントに加え、新鮮な地元農産物などの直売が行われました。



May
5月

あぐい山車まつり

町制70周年をお祝いするため、町指定有形民俗文化財の5輛の山車が役場に集結。迫力ある山車の曳き回し、三番叟やからくり、町内各地区のお囃子が披露されました。



June
6月

花かつみまつり

幻の花“花かつみ”の見頃に合わせて、花かつみまつりを開催。花かつみ園でのイベントや70周年記念として「花かつみお守り袋」を来場者にプレゼントしました。



June
6月

田んぼアート

田んぼをキャンパスに見立て、色の異なる稲を絵の具代わりに、巨大な「アグピースマイル」を作りました。田植えから稲刈りまでの体験を通して、阿久比の魅力や食の大切さを知ることができました。

70周年 記念イベント

70th Anniversary
Events

この日、この瞬間の 大切な思い出は、笑顔とともに ずっと心の記憶に刻まれる

The happy memories will forever remain engraved in your mind, along with the smiles.



July
7月

あぐいつながるフェスティバル

町内のボランティア・町民活動グループと町民の皆さんが出会い・交流することを目的としたイベント。愛知県警察音楽隊も登場し、幅広い世代や障がいの有無を越え、心つながる楽しいひと時を過ごしました。



August
8月

あぐいふれあい盆踊りのタベ・メモリアル花火

役場芝生広場で「阿久比音頭」や「アグピース音頭」などの曲に合わせて盆踊りの輪が広がり、メモリアル花火では、スターメインや笑顔をかたどった花火“いないいないばあ”が打ち上がり、みんなで楽しく盛り上がりました。



August
8月

子どもサミット

「あぐいみらいプロジェクト」をテーマに、児童・生徒の代表が集まり、「SDGsを通じて町の未来をより良くするためにできること」について、真剣で責任感に満ちた表情で話し合いました。



August
8月

デンソー女子アスリートによるスポーツ教室

バスケットボール“デンソーアイリス”、陸上“デンソーフリーステローズ”、バレーボール“デンソーエアリービーズ”の選手から直接指導いただける貴重な機会に、参加者の顔は笑顔でキラキラと輝いていました。

September
9月



September
9月

みんなの敬老会

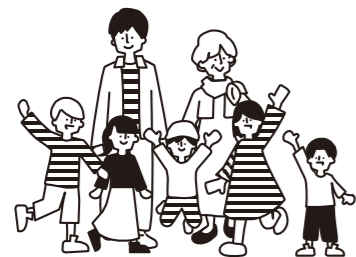
70歳以上の高齢者の長寿をお祝いする「敬老会」。あぐい騰のよさこいや中学校吹奏楽部による演奏、健康体操が行われました。来場者は音楽に合わせて歌ったり踊ったりしてイベントを楽しみ、生き生きとした表情を浮かべていました。



October
10月

スポーツフェスティバルレクリエーション大会

各地区から町民が集い、競技を通じて交流を深めました。地区得点種目として作戦リレー、玉入れ、1000m混合リレーが行われ、仲間からの声援を受けた選手たちは、真剣に競技に臨みました。



阿久比町 70年の歩み

2023年(令和5年)阿久比町は町制70周年を迎えることができました。
ここでは、年表と10枚の写真で「町の70年の歩み」を振り返ります。

1953年 (昭和28年)	1月	阿久比村を廃止 阿久比町制を施行
1955年 (昭和30年)	10月	国勢調査 人口12,586人 世帯数2,082 (男5,348人 女7,238人)
1956年 (昭和31年)	5月	阿久比広報創刊
1959年 (昭和34年)	3月	役場庁舎(旧)完成 1
	9月	伊勢湾台風来襲 2
1961年 (昭和36年)	9月	愛知用水事業完成
1964年 (昭和39年)	7月	町営プール(旧)完成
1970年 (昭和45年)	7月	知多半島道路 阿久比半田間開通 3
1971年 (昭和46年)	4月	阿久比中学校 (椋岡から卯之山へ)移転
1972年 (昭和47年)	10月	人口20,000人となる
1974年 (昭和49年)	6月・7月	昭和49年集中豪雨
1976年 (昭和51年)	9月	台風17号来襲 昭和51年集中豪雨
1977年 (昭和52年)	9月	中央公民館本館完成
1979年 (昭和54年)	4月	県立阿久比高校開校
1983年 (昭和58年)	7月	町立図書館開館 名鉄阿久比駅開業 4
1989年 (平成元年)	11月	オアシス大橋開通式に 三笠宮寛仁親王殿下・ 同妃信子殿下ご出席 5
1993年 (平成5年)	3月	ふれあいの森完成
1994年 (平成6年)	8月	異常湧水により 上水道19時間断水実施
1999年 (平成11年)	3月	阿久比町ホームページ開設
	4月	ごみの分別収集開始



2000年 (平成12年)	9月	東海豪雨 総雨量613.5ミリ 6
2003年 (平成15年)	4月	阿久比スポーツ村オープン
	6月	マスコットキャラクター アグビー誕生
2004年 (平成16年)	12月	半田市と合併協議会設置の 賛否を問う住民投票 (結果: 反対多数)
2005年 (平成17年)	7月	愛知万博(愛・地球博) フレンドシップ事業 「ソロモン諸島」 7
2006年 (平成18年)	12月	名鉄椋岡駅廃止
2008年 (平成20年)	4月	子ども総合支援センター (あぐびっぴ等)開設
	12月	名鉄阿久比駅が 「特急」停車駅に
2011年 (平成23年)	9月	陽なたの丘 自治会新設
2014年 (平成26年)	10月	循環バス「アグビー号」 本格運行開始
2015年 (平成27年)	2月	10,000世帯到達
	12月	新庁舎完成 8
2017年 (平成29年)	3月	アグピアホール (中央公民館多目的ホール) 完成 8
2018年 (平成30年)	7月	阿久比PA(下り) リニューアルオープン
2020年 (令和2年)	8月	新学校給食センター完成 (愛称: AGUMOGU(あぐもぐ)) 9
	10月	国勢調査 人口28,383人 世帯数10,134 (男13,965人 女14,418人)
2021年 (令和3年)	7月	「歩行者優先」のまちを宣言
2022年 (令和4年)	4月	阿久比スポーツ村 交流センター(愛称: アグスポ) (旧スポーツ医・科学研究所) をオープン 10
2023年 (令和5年)	1月	阿久比町制70周年

20th Anniversary アグビー

アグビー
マスコットキャラクター

丸くて愛らしい顔と光るキュートなお尻が特徴のヘイケボタル。平成15年6月に、阿久比町制50周年記念「ほたるサミットあぐい」のキャラクターとして誕生しました。特別住民票の交付も受けたれっきとした阿久比町民です。

“アグビー”グッズの紹介

- ぬいぐるみ..... 2,500円
- ストラップ..... 1,000円
- ピンパッチ..... 300円
- (観光協会で販売中)
- アグビーLINEスタンプ..... 150円
- (50LINEコイン)

Agui Mascot Agupy
The Heike firefly has a round, adorable face and cute, glowing buttocks. The mascot was created in June 2003 for the Firefly Summit Agui to celebrate 50th anniversary AguiTown of Agui's municipal system. The firefly is now an official resident of Agui and even has a special resident card.



TOWN MAP

タウンマップ



Information

- 阿久比町役場の所在地:
愛知県知多郡阿久比町
大字卯坂字殿越50番地
- 位置:東経136°55' 北緯34°56'
- 面積:23.80km²
- 総人口:28,288人
男性 14,009人
女性 14,279人
- 世帯数:11,026世帯
(令和5年10月1日現在)

ここに住み続けたい
と思う住民の率
80.6%
(第6次総合計画策定
住民意識調査)



ACCESS アクセス



町の木 もちのき
Town Tree: Mochinoki (Ilex)

古くは「万葉集」で近親相和の意味をもつもちの木。町民が健康に恵まれ、いつまでもお互いに助け合う。そんな明るく住みよい町づくりを象徴するものとして、制定されました。
(昭和51年11月1日制定)

町の花 うめ
Town flower: Ume (Plum Tree)

菅原道真の孫・雅規が善政をした阿久比。道真が最も愛した梅の花を、雅規の子孫で坂部城主になった久松家が、梅ばちの家紋としたことから、町の紋所にもなりました。
(昭和51年11月1日制定)

町章
Town Emblem

阿久比町の「あ」の字がモチーフになっています。大小二つの丸は、平和と文化を愛する志の高い町の姿をあらわし、中央の軸は、町の発展向上を象徴しています。
(昭和43年10月1日制定)

オアシス運動
Oasis Movement

昭和54年、阿久比中学校生徒会が「おはよう・ありがとう・しんせつに・すみません」の気持ちを育てる活動として始まった「オアシス運動」が、その後、まち全体の取り組みへと発展しました。阿久比町民憲章にも掲げられ、まち全体でオアシス運動を進めています。



阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。

- ホテル飛びかう、豊かな自然を守ります。
- 歴史と伝統を守り、教養を高めます。
- スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくれます。
- オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくれます。
- ボランティア活動に、すすんで参加します。
(平成15年11月2日制定)

Smile ☺ Future!



笑顔でかける未来
夢ある新しい阿久比町へ

阿久比町制70周年記念 町勢要覧



企画・編集：阿久比町総務部政策協働課

〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50番地

70th Anniversary AGUI Town Guide 2023

Designed and edited by: Policy Collaboration Division, General Affairs Department, Agui Town
50, Tonokoshi, Usaka, Agui-cho, Chita-gun, Aichi Prefecture, 470-2292, Japan